

# 会誌編集委員会 女子部

Number  
33

Educate your co-workers!

芝浦工業大学 野田夏子

とある学会で隣り合った男性研究者から、女子部のネタはどうやって見つけているのか、と聞かれた。この方も読んでくださっている、と知り嬉しかった。たしかにこの女子部、論文など日頃書き慣れているものとはかなり勝手に違って書きにくい。意義が分からないなどの手厳しいご意見もいただき、おっかなびっくり書いているところもある。ただ、実のところネタは尽きない。向こうからやってくる、という感じだ。今回もほら、あれを書こう。

去る2016年12月10日、私が勤務する芝浦工業大学は、お茶の水女子大学、物質・材料研究機構とともに文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（連携型）」の一環として、女性研究者のグラスシーリングを破るということをテーマしたシンポジウム／ワークショップを開催した。日本の研究者に占める女性割合は14.7%（2015年3月）と諸外国に比べ低い。特に工学分野は10%、さらに上位職となるともっと少ない。この現状をどう打破していくか議論した。本イベントでは、三菱ケミカルホールディングスアメリカ社初のアメリカ人社長かつ初の女性社長ドナ・コスタ（Donna Costa）氏のビデオメッセージを上映した。リーダーになるために、リーダーであるために、なにを心がけなにを実践してきたか、ご

自身の体験を踏まえたメッセージは非常に分かりやすく力強いものであり、来場者アンケートでも高評価であった。男性にも同じことがいえる話で有意義だった、というお声も頂戴した。

たとえば、「オファーを断らない」「チャンスは自ら創り出そう」。たしかに男女問わずに有益なアドバイスだ。その一方で、これまでの歴史や根強く残る人々の意識など、環境が違うからやはり同じにはいかないとも思う。何しろ私の年代など、学級委員長は男子で女子は副委員長、が当たり前だった。そうかと思うと今になって、指導的立場の女性割合を30%に、と言われて、そもそも全体の割合でも女性が3割いかなかったりするのだから女性全員が指導者にならなければ辻褄が合わないという状況に、おかしなプレッシャーを感じたりもする。

コスタ氏は、上司や同僚を育てよう（educate）と言われ、男女不平等がないようなふりをするな、男性と対話を続けよう、と言われた。このコーナーも、女性の側から見た硬軟取り混ぜたさまざまなストーリーを伝えることで男女共同参画について会員をeducateする役割をこっそり負っているのかもしれない。なお、コスタ氏のビデオメッセージは本学Webページで公開される予定だ。公開の暁には、ぜひご覧ください。

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

## 会員募集中!!



申込／照会先 一般社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

